

令和 2 年 度

仙南地域広域行政事務組合一般会計及び
仙南芸術文化センター特別会計歳入歳出決算

審 査 意 見 書

仙南地域広域行政事務組合監査委員

仙 広 監 第 7 号
令和 3 年 8 月 31 日

仙南地域広域行政事務組合

理事長 滝 口 茂 殿

仙南地域広域行政事務組合

監査委員 佐藤 長壽郎

監査委員 齋 藤 英



決算審査意見の提出について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された令和 2 年度仙南地域広域行政事務組合一般会計・仙南芸術文化センター特別会計歳入歳出決算、証書類、歳入歳出事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書を審査した結果、別紙のとおりその意見を提出します。

目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
第 5	決算の概要	2
1	一般会計	2
(1)	総括	2
(2)	歳入	2
(3)	歳出	5
2	仙南芸術文化センター特別会計	10
(1)	総括	10
(2)	歳入	10
(3)	歳出	12
3	財産に関する調書	13
(1)	土地及び建物	13
(2)	物品	13
(3)	基金	13
第 6	審査意見	14
1	一般会計について	14
2	特別会計について	14
3	財産の状況について	15
4	契約事務について	15
5	むすび	15

令和２年度仙南地域広域行政事務組合
一般会計・仙南芸術文化センター特別会計
歳入歳出決算審査意見

第１ 審査の対象

令和２年度 仙南地域広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算

令和２年度 仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計歳入歳出決算

上記各会計の証書類、歳入歳出決算事項別明細書及び実質収支に関する調書

令和２年度 仙南地域広域行政事務組合財産に関する調書

第２ 審査の期間

令和３年８月２６日から同年８月３１日まで

第３ 審査の方法

審査は、令和２年度一般会計・特別会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書について、各関係職員等からの説明聴取等の方法により計数の正確性、支出命令等との符合、収支の適法性等について実施した。

第４ 審査の結果

審査に付された一般会計・特別会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、かつ、それらの計数は証書類と符合し正確であり、予算執行状況についても適正であると認める。

※文中に用いている千円単位の金額は、原則として千円未満を四捨五入している。

第5 決算の概要

1 一般会計

(1) 総括

令和2年度における一般会計の予算現額は、歳入歳出それぞれ6,441,902,000円で、これに対する決算額は歳入総額5,154,511,326円、歳出総額4,975,688,775円となり、歳入歳出差引額178,822,551円から事故繰越しに伴う翌年度へ繰り越すべき財源55,716,850円を差し引いた実質収支は、123,105,701円となっている。このうち、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額73,800,000円が積み立てられ、差し引き49,305,701円が翌年度へ繰越しとなっている。

(2) 歳入

予算現額6,441,902,000円に対して、調定額、収入済額ともに5,154,511,326円で収入率は80.0%となっている。

(単位：円)

区 分	当初予算額	補正額	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	予算額に対する収入割合(%)	調定額に対する収入割合(%)	決算構成比率(%)
分担金及び負担金	3,579,120,000	△39,000	743,627,000	4,322,708,000	3,778,080,080	3,778,080,080	0	87.4	100.0	73.3
使用料及び手数料	522,397,000	8,831,000	0	531,228,000	543,375,920	543,375,920	0	102.3	100.0	10.5
国庫支出金	7,274,000	△2,610,000	919,858,000	924,522,000	287,970,112	287,970,112	0	31.1	100.0	5.6
県支出金	10,552,000	△138,000	0	10,414,000	10,414,528	10,414,528	0	100.0	100.0	0.2
財産収入	47,482,000	5,038,000	0	52,520,000	67,239,717	67,239,717	0	128.0	100.0	1.3
繰入金	94,850,000	△60,952,000	0	33,898,000	23,898,000	23,898,000	0	70.5	100.0	0.5
繰越金	23,840,000	15,002,000	8,530,000	47,372,000	47,371,541	47,371,541	0	100.0	100.0	0.9
諸収入	145,165,000	65,575,000	0	210,740,000	240,061,428	240,061,428	0	113.9	100.0	4.7
組合債	72,700,000	1,100,000	234,700,000	308,500,000	156,100,000	156,100,000	0	50.6	100.0	3.0
合 計	4,503,380,000	31,807,000	1,906,715,000	6,441,902,000	5,154,511,326	5,154,511,326	0	80.0	100.0	100.0

1 款 分担金及び負担金

予算現額 4,322,708,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 3,778,080,080 円となり、内訳は、市町負担金が 3,769,142,000 円、高速自動車道救急業務負担金が 8,938,080 円となっている。

市町負担金内訳

(単位：円)

区 分	合 計	内 訳						
		総 務 費	徴 税 費	民 生 費	衛 生 費	消 防 費	教 育 費	圏 域 文 化 振 興 費
白 石 市	654,146,000	44,665,000	11,940,000	14,583,000	190,542,000	385,570,000	6,846,000	
角 田 市	624,227,000	38,033,000	10,824,000	12,518,000	217,346,000	339,650,000	5,856,000	
蔵 王 町	289,546,000	15,790,000	4,112,000	5,429,000	87,535,000	174,271,000	2,409,000	
七ヶ宿町	61,811,000	1,826,000	482,000	775,000	15,674,000	42,774,000	280,000	
大河原町	521,228,000	31,229,000	5,252,000	8,127,000	112,791,000	268,220,000	4,793,000	90,816,000
村 田 町	262,748,000	14,506,000	2,026,000	4,686,000	71,381,000	157,890,000	2,211,000	10,048,000
柴 田 町	715,863,000	49,713,000	8,809,000	13,964,000	204,000,000	397,063,000	7,632,000	34,682,000
川 崎 町	226,215,000	11,546,000	2,541,000	4,015,000	57,216,000	149,133,000	1,764,000	
丸 森 町	413,358,000	17,629,000	2,720,000	6,714,000	180,669,000	202,912,000	2,714,000	
合 計	3,769,142,000	224,937,000	48,706,000	70,811,000	1,137,154,000	2,117,483,000	34,505,000	135,546,000

2 款 使用料及び手数料

予算現額 531,228,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 543,375,920 円となっている。内訳は、斎苑使用料 25,789,000 円、行政財産使用料 991,200 円、ごみ処理手数料 213,232,730 円、動物死体焼却手数料 3,733,840 円、家庭ごみ処理手数料 295,878,000 円、消防手数料 3,751,150 円である。

3 款 国庫支出金

予算現額 924,522,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 287,970,112 円となっている。内訳は、廃棄物処理施設モニタリング事業費補助金 937,200 円、災害等廃棄物処理事業費補助金 213,806,000 円、消防・救急体制整備費補助金 3,726,912 円、廃棄物処理施設災害復旧事業費補助金 69,500,000 円である。

4款 県支出金

予算現額 10,414,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 10,414,528 円となっている。内訳は、県移譲事務交付金 1,653,528 円、市町村振興総合補助金 8,761,000 円である。

5款 財産収入

予算現額 52,520,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 67,239,717 円となっている。内訳は、財政調整基金積立金利子 127,919 円、衛生施設整備基金積立金利子 10,225 円、消防施設整備基金積立金利子 15,339 円、ふるさと市町村圏基金積立金利子 944,522 円、普通財産貸付料 1,049,931 円、資源回収物売払代 63,926,705 円、不用車売払代 984,500 円、解体材売払代 180,576 円である。

6款 繰入金

予算現額 33,898,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 23,898,000 円となっている。内訳は、財政調整基金 19,000,000 円、ふるさと市町村圏基金 4,898,000 円である。

7款 繰越金

予算現額 47,372,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 47,371,541 円となっている。うち、繰越明許費繰越額分が 8,530,000 円となっている。

8款 諸収入

予算現額 210,740,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 240,061,428 円となっている。内訳は、介護認定審査判定業務受託事業収入 30,000 円、滞納処分費 398,016 円、雑入 231,931,412 円(主として、宮城県派遣職員負担金 14,846,357 円、売電収入 156,979,187 円、東京電力原発事故に伴い生じた損害に係る賠償金 17,779,121 円、亘理名取共立衛生処理組合ごみ処理費用負担金 12,669,930 円、建物総合損害共済災害共済金 25,911,592 円等)、過年度収入 7,702,000 円である。

9款 組合債

予算現額 308,500,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 156,100,000 円となっている。これは、衛生債としてし尿処理施設(柴田)生し尿貯留槽他改良工事、消防債として高規格救急自動車(白石消防署蔵王出張所)購入、普通消防ポンプ自動車(白石消防署)購入、災害復旧債としてあぶくま斎苑調整池付近法面等復旧工事、仙南最終処分場法面等災害復旧工事、角田消防署丸森出張所庁舎災害復旧工事等に係る組合債である。

(3) 歳出

予算現額 6,441,902,000 円に対して、支出済額は 4,975,688,775 円で執行率は 77.24% となっている。

(単位：円)

区 分	当初予算額	補正額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	流用充当額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率 (%)	決算構 成比率 (%)
議 会 費	22,864,000	△ 636,000	0	0	22,228,000	21,941,886	0	286,114	98.71	0.4
総 務 費	205,062,000	△ 13,850,000	0	1,000	191,213,000	188,025,855	0	3,187,145	98.33	3.8
民 生 費	73,881,000	△ 687,000	0	0	73,194,000	68,065,311	2,458,500	2,670,189	92.99	1.4
衛 生 費	1,508,241,000	34,228,000	1,434,629,000	3,907,000	2,981,005,000	1,955,908,047	0	1,025,096,953	65.61	39.3
消 防 費	2,131,784,000	6,571,000	1,210,000	0	2,139,565,000	2,111,833,618	0	27,731,382	98.70	42.4
教 育 費	160,241,000	15,087,000	0	0	175,328,000	175,080,829	0	247,171	99.86	3.5
公 債 費	371,057,000	△ 23,787,000	0	2,000	347,272,000	347,263,474	0	8,526	99.99	7.0
予 備 費	30,250,000	13,819,000	0	△ 3,910,000	40,159,000	0	0	40,159,000	0.00	0.0
災害復旧費	0	1,062,000	470,876,000	0	471,938,000	107,569,755	87,493,350	276,874,895	22.79	2.2
合 計	4,503,380,000	31,807,000	1,906,715,000	0	6,441,902,000	4,975,688,775	89,951,850	1,376,261,375	77.24	100.0

1 款 議会費

予算現額 22,228,000 円に対し、支出済額は 21,941,886 円で執行率は 98.71%、決算額構成比は 0.4% となっている。

支出の主なものは、報酬 4,669,495 円、職員給与 12,883,184 円、共済組合負担金 2,555,586 円、退職手当組合負担金 1,156,767 円である。

2 款 総務費

予算現額 191,213,000 円に対し、支出済額は 188,025,855 円で執行率 98.33%、決算構成比 3.8% となっている。

内訳は、一般管理費 114,186,562 円、財政管理費 17,257,963 円、会計管理費 267,740 円、企画費 1,404,440 円、徴税費 54,509,907 円、監査委員費 399,243 円である。

支出の主なものは、報酬(理事、産業医、滞納整理指導員、監査委員)5,218,900 円、特別職給与 9,829,735 円、一般職給与 105,544,633 円、共済組合負担金 23,448,558

円、退職手当組合負担金 9,755,481 円、需用費（光熱水費等）8,936,259 円、委託料（例規電子システムデータ作成委託料、庁舎清掃委託料、滞納管理システムプログラム変更委託料等）6,295,136 円、使用料及び賃借料（財務会計システム賃借料、滞納管理システム賃借料等）11,135,958 円である。

3 款 民生費

予算現額 73,194,000 円に対し、支出済額は 68,065,311 円で執行率は 92.99%、決算構成比は 1.4%となっている。内訳は、介護保険費 58,590,626 円、障害福祉費 9,474,685 円である。

支出の主なものは、報酬 10,038,600 円、職員給与 36,601,554 円、共済組合負担金 7,572,841 円、退職手当組合負担金 3,342,966 円、旅費 2,038,660 円、使用料及び賃借料（審査会資料作成支援システム賃借料等）6,085,278 円である。

なお、審査会資料作成支援システムプログラム変更委託料 2,458,500 円が令和 3 年度へ繰越しとなっている。

4 款 衛生費

予算現額 2,981,005,000 円に対し、支出済額は 1,955,908,047 円で執行率 65.61%、決算構成比 39.3%となっている。

所属ごとの内訳は、次のとおりである。

ア 業務課

支出済額は 68,966,770 円で、主な支出は、職員給与 51,040,144 円、共済組合負担金 10,179,072 円、退職手当組合負担金 4,693,743 円、消耗品費 603,645 円（印刷製本費等）、委託料（公有財産管理委託料等）644,968 円、使用料及び賃借料 862,802 円（ごみ出し支援システム使用料等）である。

イ 白石斎苑

支出済額は 37,670,838 円で、主な支出は、需用費（光熱水費等）7,566,423 円、委託料（運営委託料）23,060,756 円、積立金 7,012,038 円である。

ウ セツ宿斎苑

支出済額は 1,155,912 円で、主な支出は、需用費（燃料費等）466,815 円、委託料（火葬業務委託料）630,960 円である。

エ あぶくま斎苑

支出済額は 37,193,573 円で、主な支出は、需用費（光熱水費等）12,530,913 円、委託料（火葬業務委託料等）17,636,198 円、工事請負費（火葬炉等補修工事等）5,455,124 円である。

オ 柴田斎苑

支出済額は 42,458,823 円で、主な支出は、需用費(光熱水費等)9,836,079 円、委託料(運営委託料)27,960,315 円、積立金 4,628,229 円である。

カ 川崎斎苑

支出済額は 5,761,021 円で、主な支出は、需用費(燃料費等)1,185,398 円、委託料(火葬業務委託料等)3,244,560 円、工事請負費(火葬炉等補修工事)1,248,276 円である。

キ 仙南リサイクルセンター

支出済額は 199,125,755 円で、主な支出は、職員給与 24,339,246 円、共済組合負担金 4,912,979 円、退職手当組合負担金 1,768,323 円、需用費(光熱水費、修繕料等)18,763,142 円、委託料(施設運転管理委託料、可燃残渣物運搬委託料等)115,294,565 円、工事請負費(破碎設備他補修工事等)30,580,000 円である。

ク 仙南最終処分場

支出済額は 15,787,581 円で、主な支出は、需用費(修繕料等)1,325,807 円、委託料(一般廃棄物処理施設維持管理に伴う各種検査分析委託料等)1,990,586 円、積立金 11,867,000 円である。

ケ 仙南クリーンセンター

支出済額は 1,158,671,172 円で、主な支出は、役務費(証紙売りさばき手数料等)16,282,556 円、委託料(運營業務委託料、災害廃棄物処理業務委託料等)1,120,473,370 円、積立金 21,878,000 円である。

コ 動物焼却施設

支出済額は 7,331,259 円で、主な支出は、職員給与 2,810,089 円、共済組合負担金 546,921 円、退職手当組合負担金 245,697 円、工事請負費(動物炉台車等更新工事)985,600 円、積立金 1,500,000 円である。

サ し尿処理施設(角田)

支出済額は 156,646,187 円で、主な支出は、職員給与 43,700,459 円、共済組合負担金 9,286,654 円、退職手当組合負担金 2,915,475 円、需用費(消耗品費、光熱水費等)40,811,167 円、工事請負費(汚泥脱水設備他補修工事等)50,633,000 円である。

シ し尿処理施設(柴田)

支出済額は 225,139,156 円で、主な支出は、職員給与 32,233,154 円、共済組合負担金 6,948,400 円、退職手当組合負担金 2,104,848 円、需用費(消耗品費、光熱水費等)85,784,827 円、工事請負費(生し尿貯留槽他改良工事等)94,996,000 円である。

5款 消防費

予算現額 2,139,565,000 円に対し、支出済額は 2,111,833,618 円で、執行率は 98.70%、決算構成比は 42.4%となっている。

支出の主なものは、職員給与 1,370,249,832 円、共済組合負担金 275,761,560 円、退職手当組合負担金 124,035,673 円、需用費(消耗品費、光熱水費等)73,307,992 円、委託料(梯子付消防自動車分解整備委託料等)65,775,644 円、備品購入費(高規格救急自動車、普通消防ポンプ自動車等)91,593,801 円、積立金 60,286,664 円である。

6款 教育費

予算現額 175,328,000 円に対し、支出済額は 175,080,829 円で、執行率は 99.86%、決算構成比は 3.5%となっている。内訳は、教育総務費 31,287,705 円、社会教育費 2,723,601 円、圏域文化振興費 141,069,523 円である。

支出の主なものは、職員給与 21,051,428 円、共済組合負担金 4,109,185 円、退職手当組合負担金 1,885,788 円、委託料(A Z 9 ジュニア・アクターズ養成委託料等)3,722,837 円、備品購入費(視聴覚教材等)1,439,625 円、積立金 3,533,031 円、繰出金 136,946,000 円である。

7 款 公債費

予算現額 347,272,000 円に対し、支出済額は 347,263,474 円で執行率は 99.99%、決算構成比は 7.0%となっている。内訳は、元金償還金 337,705,725 円、利子償還金 9,557,749 円、借入額が 156,100,000 円(10 件)である。

年度末地方債残高は、4,748,393,014 円である。

(単位：円)

区 分		令和元年度 現在高	令和 2 年 度 中			年度末残額	
			借 入 額	元 金 償 還 額	利 子 償 還 額		
一般会計	衛 生	4,108,792,956	93,900,000	241,657,571	6,353,651	3,961,035,385	
	内 訳	白石斎苑	891,022,217	0	6,088,902	927,907	884,933,315
		あぶくま斎苑	4,973,792	22,800,000	1,982,069	22,395	25,791,723
		柴田斎苑	946,724,390	0	12,247,817	436,759	934,476,573
		仙南リサイクルセンター	91,354,068	0	16,721,082	994,856	74,632,986
		仙南最終処分場	65,700,000	41,800,000	0	12,005	107,500,000
		仙南クリーンセンター	2,048,675,499	1,000,000	187,385,735	3,726,376	1,862,289,764
		し尿処理施設 (角田)	26,134,960	0	9,361,639	128,686	16,773,321
		し尿処理施設 (柴田)	34,208,030	28,300,000	7,870,327	104,667	54,637,703
	消 防	821,205,783	62,200,000	96,048,154	3,204,098	787,357,629	
合 計		4,929,998,739	156,100,000	337,705,725	9,557,749	4,748,393,014	

8 款 予備費

11 件 3,910,000 円の予備費充当があった。

9 款 災害復旧費

予算現額 471,938,000 円に対し、支出済額は 107,569,755 円で執行率は 22.79%、決算構成比は 2.2%となっている。内訳は、廃棄物処理施設災害復旧費 70,477,150 円、保健衛生施設等災害復旧費 11,660,000 円、消防防災施設災害復旧費 25,432,605 円である。

これは、委託料（浸出水処理委託料等）51,595,650 円、工事請負費（法面等災害復旧工事等）55,974,105 円である。

なお、あぶくま斎苑調整池付近法面等復旧工事 11,220,000 円、仙南最終処分場浸出水運搬処理事業 28,241,850 円、仙南最終処分場法面等災害復旧工事 48,031,500 円が令和 3 年度へ繰越しとなっている。

2 仙南芸術文化センター特別会計

(1) 総括

令和2年度における特別会計の予算現額は、歳入歳出それぞれ160,919,000円で、これに対する決算額は歳入総額161,408,349円、歳出総額152,854,241円となり、歳入歳出差引額8,554,108円となっている。このうち、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額4,300,000円が積み立てられ、差し引き4,254,108円が翌年度へ繰越しとなっている。

(2) 歳入

予算現額160,919,000円に対し、調定額、収入済額ともに161,408,349円で収入率は100.3%となっている。

(単位：円)

区 分	当初予算額	補正額	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	予算額に対する収入割合(%)	調定額に対する収入割合(%)	決算構成比率(%)
事業収入	1,580,000	△414,000	0	1,166,000	1,356,000	1,356,000	0	116.3	100.0	0.8
使用料及び手数料	9,339,000	△2,910,000	0	6,429,000	6,834,875	6,834,875	0	106.3	100.0	4.2
財産収入	13,000	14,000	0	27,000	26,675	26,675	0	98.8	100.0	0.1
繰入金	124,546,000	12,400,000	0	136,946,000	136,946,000	136,946,000	0	100.0	100.0	84.8
繰越金	1,700,000	4,367,000	0	6,067,000	6,067,996	6,067,996	0	100.0	100.0	3.8
諸収入	253,000	△208,000	0	45,000	37,803	37,803	0	84.0	100.0	0.1
国庫支出金	0	339,000	0	339,000	239,000	239,000	0	70.5	100.0	0.1
組合債	0	9,900,000	0	9,900,000	9,900,000	9,900,000	0	100.0	100.0	6.1
合 計	137,431,000	23,488,000	0	160,919,000	161,408,349	161,408,349	0	100.3	100.0	100.0

1 款 事業収入

予算現額1,166,000円に対し、調定額、収入済額ともに1,356,000円となっている。
これは、友の会収入である。

2款 使用料及び手数料

予算現額 6,429,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 6,834,875 円となっている。内訳は、仙南芸術文化センター使用料 6,686,129 円、行政財産使用料 148,746 円である。

3款 財産収入

予算現額 27,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 26,675 円となっている。内訳は、財政調整基金積立金利子 11,627 円、解体材売払代 15,048 円である。

4款 繰入金

予算現額、調定額、収入済額ともに 136,946,000 円となっている。これは、一般会計繰入金である。

5款 繰越金

予算現額 6,067,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 6,067,996 円となっている。

6款 諸収入

予算現額 45,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 37,803 円となっている。これは、雑入である。

7款 国庫支出金

予算現額 339,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 239,000 円となっている。これは、文化芸術振興費補助金である。

8款 組合債

予算現額、調定額、収入済額ともに 9,900,000 円となっている。これは、基幹設備更新事業債として舞台音響設備更新工事に係る組合債である。

(3) 歳出

予算現額 160,919,000 円に対し、支出済額は 152,854,241 円で執行率は 94.99%となっている。

(単位：円)

区 分	当初予算額	補正額	継続費及び繰越事業費繰越額	流用充当額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率 (%)	決算構成比率 (%)
仙南芸術文化センター費	136,431,000	20,834,000	0	661,000	157,926,000	152,854,241	0	5,071,759	96.79	100.0
予 備 費	1,000,000	2,654,000	0	△661,000	2,993,000	0	0	2,993,000	0.00	0.0
合 計	137,431,000	23,488,000	0	0	160,919,000	152,854,241	0	8,064,759	94.99	100.0

1 款 仙南芸術文化センター費

予算現額 157,926,000 円に対し、支出済額は 152,854,241 円で執行率は 96.79%、決算構成比は 100%となっている。

支出の主なものは、職員給与 34,299,169 円、共済組合負担金 6,906,589 円、退職手当組合負担金 2,972,835 円、需用費(光熱水費、修繕料等) 19,049,983 円、委託料(施設管理業務委託料、舞台設備操作維持管理業務委託料等) 31,910,774 円、工事請負費(舞台音響設備更新工事等) 29,194,550 円、実行委員会負担金 13,217,866 円である。

2 款 予備費

3 件 661,000 円の予備費充当があった。

3 財産に関する調書

(1) 土地及び建物

ア 土地における決算年度末現在高合計は、357,499.16 m²で、増減はない。

イ 建物における延面積決算年度末現在高合計は、48,583.60 m²で、増減はない。

(2) 物品

車両については、新規1台（連絡車）、更新配備2台（普通消防ポンプ自動車、高規格救急自動車）、廃棄2台（ホイールローダー）となっている。

消防関係では、高度シミュレーター1台、教育関係では、紙しばい教材4本、ビデオカメラ1台、DVD教材37本、シアター教材5本が増加している。

(3) 基金

(単位：円)

区 分	令和2年3月末日 現 在 高	令 和 2 年 度 中			令和3年3月末日 現 在 高
		積 立 額	取 崩 し 額	繰 替 運 用 額	
財 政 調 整 基 金	574,490,444	194,084,511	19,000,000	0	749,574,955
ふるさと市町村圏基金	221,733,577	33,909	4,898,000	0	216,869,486
衛 生 施 設 整 備 基 金	102,256,834	1,068,225	0	0	103,325,059
消 防 施 設 整 備 基 金	153,391,880	15,339	0	0	153,407,219
仙南芸術文化センター 財 政 調 整 基 金	25,954,402	※30,691,627	0	0	56,646,029
合 計	1,077,827,137	225,893,611	23,898,000	0	1,279,822,748

ア 財政調整基金については、積立額194,084,511円、取崩し額19,000,000円で、年度末現在高は749,574,955円となっている。

イ ふるさと市町村圏基金については、積立額33,909円、取崩し額4,898,000円で、年度末現在高は216,869,486円となっている。

ウ 衛生施設整備基金については、積立額1,068,225円で、年度末現在高は103,325,059円となっている。

エ 消防施設整備基金については、積立額15,339円で、年度末現在高は153,407,219円となっている。

オ 仙南芸術文化センター財政調整基金については、積立額30,691,627円で、年度末現在高は56,646,029円となっている。

※前年度の出納整理期間中に基金へ繰戻した14,030,000円を積立額に含む。

第6 審査意見

一般会計及び仙南芸術文化センター特別会計を合わせた決算額は、歳入総額 5,315,920 千円、歳出総額 5,128,543 千円で、これを令和元年度と比較すると、歳入では 511,436 千円(8.8%)の減、歳出では 557,172 千円(9.8%)の減となっている。歳入歳出差引額 187,377 千円で、歳入歳出差引額から事故繰越しに伴う翌年度に繰り越すべき財源 55,717 千円を差し引いた実質収支額は 131,660 千円となった。令和元年度の実質収支額と比較すると、1,450 千円(1.1%)の減となっている。

1 一般会計について

歳入総額 5,154,511 千円、歳出総額 4,975,689 千円で、これを令和元年度と比較すると、歳入では 520,961 千円(9.2%)の減、歳出では 570,412 千円(10.3%)の減となっている。

歳入は、令和元年度と比較すると、国庫支出金、県支出金、諸収入で 223,768 千円の増となったものの、分担金および負担金、使用料及び手数料、財産収入、繰入金、繰越金、組合債で 744,728 千円の減となったことによるものであり、歳出は、公債費、物件費、繰出金で 387,611 千円の増となり、人件費、維持補修費、補助費等、普通建設事業費、災害復旧事業費で 958,022 千円の減となったことによるものである。

歳入歳出差引額は 178,823 千円で、事故繰越しに伴う翌年度へ繰り越すべき財源 55,717 千円を差し引いた実質収支額は 123,106 千円となり、令和元年度の実質収支額と比較すると、2,264 千円(1.8%)の増となっている。

歳入については、依存財源(市町負担金)の比率が高い現状を受け止め、なお自主財源の確保に努められるよう要望するとともに、歳出については、的確に執行予定額を把握し、不用額が生じる事実がある場合には、補正予算措置を行うなど必要な対策を講じ、引き続き限られた財源の有効活用を期待するものである。

2 特別会計について

歳入総額 161,408 千円、歳出総額 152,854 千円で、これを令和元年度と比較すると、歳入では 9,525 千円(6.3%)の増、歳出では 13,239 千円(9.5%)の増となっている。

歳入は、財産収入、繰入金、繰越金、組合債で 25,840 千円の増となったものの、事業収入、使用料及び手数料、諸収入、国庫支出金で 16,315 千円の減となったことによるものであり、歳出は、人件費、普通建設事業費、積立金で 26,170 千円の増となり、物件費、維持補修費、補助費等で 12,931 千円の減となったことによるものである。

歳入歳出差引額は 8,554 千円で、令和元年度の実質収支額と比較すると、3,714 千円(30.3%)の減となっている。

一般会計と同様、自主財源の確保、的確な執行予定額の把握、限られた財源の有効活用に努めるとともに、引き続き利用者の利便性向上に向けた更なる取組を期待するものである。

3 財産の状況について

土地及び建物については、決算年度中の増減はなかった。

また、基金については、令和元年度決算剰余金による財政調整基金への積立てが 88,200 千円となっている。各基金への積立てが 137,694 千円、取崩し額が 23,898 千円となっており、令和 2 年度末現在高(各基金の合計)が 1,279,823 千円となっている。

今後も、引き続き適正管理に努められるよう要望するとともに、基金については、将来的な財政需要を十分踏まえ、計画的に積立てを行うよう要望する。

4 契約事務について

入札契約制度の透明性及び公正性を確保する取組については、一定の評価をする。

また、少額の契約事務にあっても、おおむね適切に処理が行われていた。

今後も業務等の発注に当たっては、契約事務の透明性及び公平性の確保・向上に努め、引き続き組織内チェック体制や各担当分野における専門性を強化し、より一層の契約体制の充実を期待するものである。

5 むすび

本年度にあつては、令和元年度からの繰越事業として、東日本台風災害で発生した廃棄物処理事業及び施設の復旧事業に加え、本年 2 月に発生した福島県沖地震に伴う災害関連による臨時的経費の支出が増加となった。

近年、大規模地震や集中豪雨が年々増加する傾向にあり、頻発・激甚化する自然災害に対応するため、防災・減災に向けた取組が必要であると思われる。

また、いまだ終息の見えない新型コロナウイルスの感染拡大は、社会のシステムや人々の生活に大きな影響を及ぼし、社会経済活動は長期低迷が続き、地方自治体の税収が落ち込んでいる状況下にある。

こうした中、構成市町においては、新型コロナウイルス感染症への対応をはじめとし、地域社会のデジタル化、防災減災対策事業への取組など、喫緊の課題が山積しており、ますます厳しい財政運営となっていくことが予想される。

組合においては、依存財源である市町負担金が歳入の大半を占める構造となっている中、今後も既存施設の維持補修や消防車両の更新、仙南芸術文化センターの基幹設備更新事業が見込まれていることから、継続して財政面に配慮した施策を実行していく必要がある。

構成市町の財政状況が一段と厳しさを増す中、最少の経費で最大の効果を上げるために、前例踏襲に陥ることなく、社会経済情勢の変化を的確に把握し、事務事業の優先度、緊急度等を精査し、限られた財源の有効活用を図るとともに、今後とも構成市町と連携を密にしながら、より一層の経済性・効率性・有効性に留意した財政運営に取り組まれない。

